# 令和03年度日進市事務事業評価シート

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大事業名 | 商工業振興事業 | | | | コード | 04210100-0101 | |
| 中事業名 | 商工業振興事業 | | | | 計画区分 | ①② | |
| 担当部等 | 産業政策部 | | 担当課等 | 産業振興課 | | | |
| 総合計画 | コード | 名　　称 | 予算科目 | | コード | 名　　称 | |
| 基本目標 | 04 | 産業の魅力を高める | | 会計 | 1 | 一般会計 | |
| 基本施策 | 21 | 商工業の振興 | | 款 | 07 | 商工費 | |
| 主要施策 | 01 | 持続的に発展する経営と事業継続の支援 | | 項 | 01 | 商工費 | |
| | | | | 目 | 02 | 商工振興費 | |
| | | | | 大 | 01 | 商工業振興事業 | |
| | | | | 中 | 01 | 商工業振興事業 | |
| 根拠法令・条例等 | | | | | | | |
| 基本計画等 | | | | | | | |

## 1　事業概要「PLAN（計画）」

| | |
|---|---|
| 事務事業の概要 | 市内商工業者の経営安定化を図れるよう、商工会による経営改善普及事業及び地域活性化につながるイベント事業に要する経費を助成する。また、企業立地推進事業として、愛知県、会員54市町村、名古屋港湾管理組合、県内22商工会議所、企業など官民の連携を図りながら事業の推進に努める。さらに、企業再投資促進事業として、市内に立地する企業の再投資を補助し、地域の経済・雇用を支えている企業を支援する。 |
| 対象 | 市及び商工会が行う事務 |
| 意図（目的） | 市及び商工会が連携して業務にあたり、効率化及び経費の削減を図る。 |
| 手段 | 商工会、中小企業及び個人事業主への各種補助、愛知県産業立地推進協議会及び愛知県中小企業団体中央会への参加 |

## 2　実施結果「DO（実施）」

| 事業費（千円） | | | H31予算額 | H31決算額 | R2予算額 | R2決算額 | R3予算額 | R3決算額 | R4予算額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 189,671 | 185,208 | 180,661 | 194,985 | 172,998 | 300,093 | 201,229 |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25,451 | 0 |
| | | 県支出金 | 5,862 | 5,439 | 750 | 13,986 | 450 | 14,000 | 10,750 |
| | | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 120,000 | 120,000 | 120,000 | 120,755 | 120,000 | 120,000 | 120,000 |
| | 一般財源 | | 63,809 | 59,769 | 59,911 | 60,244 | 52,548 | 140,642 | 70,479 |

# 令和03年度日進市事務事業評価シート

**○令和 3年度に記載した具体的な改善内容**

| | |
|---|---|
| 令和 3年度に実施する具体的な改善内容 | 昨年度に引き続き、商工会が実施するプレミアム食事券・商品券発行事業に補助金を交付する他、商工会と連携して「（仮称）日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」の制定や新・経営発達支援計画の策定に向けた検討を進める。また、市内での企業立地推進のため、他市町村の取組を研究する。さらに、東部地区企業団地開発事業については、企業庁、地元区、周辺事業者と連絡を密に取るなど、更なる連携を図ることで事業の進捗を促進する。 |
| 今後（１～３年以内）実施可能な改善内容 | 商工会と連携して「（仮称）日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」や新・経営発達支援計画に基づき、市内中小企業者の育成・支援を進めていく。また、市内での企業立地を推進するため、企業誘致基本方針の策定や、マッチング制度、新たな優遇制度等について検討・立案する。 |

| | |
|---|---|
| 令和 3年度に取り組んだこと | 市内中小企業者の経営安定化のため、商工会による経営改善普及事業やプレミアム商品券発行事業等への補助金の交付、振興資金融資や信用保証料助成を実施した。<br>※企業誘致促進事業については、令和3年度分より別に中事業を新設する。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | 各種経営支援事業の実施により、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下にありながら、商工会加入率を向上させることができた。 |
| 課題 | 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化していることから、今後も市内中小企業者への経営支援や適切な情報提供に資する事業の実施が求められる。 |

**３　事業の分析「CHECK（評価）」**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 評価結果 | B | 現状のまま継続 | 前年度評価結果 | B |
| 評価の理由 | 新型コロナウイルス感染症拡大が市内中小企業者の経営に与える影響は、今後も続くことが懸念されることから、適時適切な経営支援策を講じていく。 | | | |

**４　今後の方向性「ACTION（改善）」**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 令和 4年度に実施する具体的な改善内容 | | 商工会が実施するプレミアム食事券発行事業に補助金を交付する他、令和4年4月1日に制定・施行した「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向けた検討を行う。 | | | |
| 今後の方向性 | 成果 | ○拡充 | ●維持 | ○縮小 | ○休廃止 |
| | コスト投入 | ○拡大 | ●維持 | ○縮小 | ○皆減 |
| 今後（１～３年以内）実施可能な改善内容 | | 「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向けて、商工会内に関係機関参加による協議機関を設置し検討を行う。 | | | |

【アウトプット指標】

| 指標名 | 経営指導員による相談・指導回数 | | | | | 単位 | 回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 1,500.00 | 777.00 | 1,500.00 | 1,040.00 | 1,500.00 | 1,009.00 | 1,500.00 |

【アウトカム指標】

| 指標名 | 商工会加入率 | | | | | 単位 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 60.00 | 52.50 | 60.00 | 54.60 | 60.00 | 56.60 | 60.00 |
| 式 | 商工会加入事業所数/商工事業者数（出典：2016年度経済センサス）×100 | | | | | | |
| 指標の狙い | アウトカム指標は60%以上の加入率を目指す。 | | | | | | |

# 令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

| 指標名 | 企業訪問等実施企業数 | | | | | 単位 | 社 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 38.00 | 50.00 | 40.00 | 11.00 | 40.00 | | |

【アウトカム指標２】

| 指標名 | 企業再投資促進補助金活用企業数 | | | | | 単位 | 社 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 0.00 | 1.00 | | |
| 式 | 企業再投資促進補助金交付件数 | | | | | | |
| 指標の狙い | 企業等の流出防止及び雇用の維持拡大を図るため、市内企業の市内での再投資を促進する。また、訪問等を重ねて日常の良好な関係を築くことを目指す。 | | | | | | |

# 令和03年度日進市事務事業評価シート

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大事業名 | 勤労者支援事業 | | | | コード | 04210300-0101 | |
| 中事業名 | 勤労者支援事業 | | | | 計画区分 | ― | |
| 担当部等 | 産業政策部 | | 担当課等 | 産業振興課 | | | |
| 総合計画 | コード | 名称 | 予算科目 | | コード | 名称 | |
| 基本目標 | 04 | 産業の魅力を高める | | 会計 | 1 | 一般会計 | |
| 基本施策 | 21 | 商工業の振興 | | 款 | 05 | 労働費 | |
| 主要施策 | 03 | 市内の雇用・就労環境の向上 | | 項 | 01 | 労働諸費 | |
| | | | | 目 | 01 | 労働諸費 | |
| | | | | 大 | 01 | 勤労者支援事業 | |
| | | | | 中 | 01 | 勤労者支援事業 | |
| 根拠法令・条例等 | | | | | | | |
| 基本計画等 | | | | | | | |

## 1　事業概要「PLAN（計画）」

| | |
|---|---|
| 事務事業の概要 | 愛知県社会保険労務士会名古屋中部支部による、月1回の職場での悩みごとや困りごとなどの労働相談を開催する。また、雇用の促進を図るため、名古屋東公共職業安定所と同じ求人情報を提供することを主なサービスとする日進市地域職業相談室を運営する。 |
| 対象 | 市が行う事務 |
| 意図（目的） | 日進市内を始め、近隣市町の多くの方々に利用していただき、就職者数の増加を図る。 |
| 手段 | 労働相談業務、日進市地域職業相談室の運営 |

## 2　実施結果「DO（実施）」

| 事業費（千円） | | | H31予算額 | H31決算額 | R2予算額 | R2決算額 | R3予算額 | R3決算額 | R4予算額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 3,612 | 3,310 | 3,778 | 3,553 | 3,883 | 3,721 | 3,909 |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | | 3,612 | 3,310 | 3,778 | 3,553 | 3,883 | 3,721 | 3,909 |

# 令和03年度日進市事務事業評価シート

**○令和 3年度に記載した具体的な改善内容**

| | |
|---|---|
| 令和 3年度に実施する具体的な改善内容 | より多くの人に利用してもらうため、引き続き市ホームページ等で周知するとともに、労働相談による就労支援に努める。また、社労士会による労働トラブル相談室や愛知労働局による地域別就職面接会等の事業を積極的にＰＲしていく。 |
| 今後（１～３年以内）実施可能な改善内容 | 地域職業相談室の機能維持のため、名古屋東公共職業安定所との間で適切な役割分担をしながら、さらなる連携強化に努める。 |

| | |
|---|---|
| 令和 3年度に取り組んだこと | 地域職業相談室における就労支援を行ったほか、市役所において社労士による労働相談を毎月1回行った。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | 前年度比では、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、職業相談件数、就職件数ともに増加しており、多くの支援を行うことができた。 |
| 課題 | 新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、令和4年度もより一層公共職業安定所との連携強化が望まれる。 |

## ３　事業の分析「CHECK（評価）」

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 評価結果 | Ｂ | 現状のまま継続 | 前年度評価結果 | Ｂ |
| 評価の理由 | 前年度比では、職業相談件数、就職件数ともに増加しており、相談業務での一定の効果が認められる。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、有効求人倍率は悪化し、求職者数は増加し続けていることから、公共職業安定所と連携し、相談・指導体制の充実を図りながら継続する。 | | | |

## ４　今後の方向性「ACTION（改善）」

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 令和 4年度に実施する具体的な改善内容 | | より多くの人に利用してもらうため、引き続き市ホームページ等で周知するとともに、労働相談による就労支援に努める。また、社労士会による労働トラブル相談室や愛知労働局による地域別就職面接会等の事業を積極的にＰＲしていく。 | | | |
| 今後の方向性 | 成果 | ○拡充 | ●維持 | ○縮小 | ○休廃止 |
| | コスト投入 | ○拡大 | ●維持 | ○縮小 | ○皆減 |
| 今後（１～３年以内）実施可能な改善内容 | | 地域職業相談室の機能維持のため、名古屋東公共職業安定所との間で適切な役割分担をしながら、さらなる連携強化に努める。 | | | |

【アウトプット指標】

| 指標名 | 職業相談件数 | | | | | 単位 | 件 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 6,000.00 | 5,120.00 | 6,000.00 | 4,901.00 | 6,000.00 | 6,111.00 | 6,000.00 |

【アウトカム指標】

| 指標名 | 就職件数 | | | | | 単位 | 件 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 500.00 | 393.00 | 500.00 | 287.00 | 500.00 | 351.00 | 500.00 |
| 式 | 地域職業相談室における年間の就職件数 | | | | | | |
| 指標の狙い | 地域職業相談室利用者の増加を図り、未就労者を減少させる。 | | | | | | |

# 令和03年度日進市事務事業評価シート

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大事業名 | 観光振興事業 | | | | コード | 04220100-0101 | |
| 中事業名 | 観光振興事業 | | | | 計画区分 | ①②③ | |
| 担当部等 | 産業政策部 | | 担当課等 | 産業振興課 | | | |
| 総合計画 | コード | 名称 | 予算科目 | | コード | 名称 | |
| 基本目標 | 04 | 産業の魅力を高める | 会計 | | 1 | 一般会計 | |
| 基本施策 | 22 | 観光まちづくりの推進 | 款 | | 07 | 商工費 | |
| 主要施策 | 01 | 観光資源の発掘・魅力の磨き上げ | 項 | | 01 | 商工費 | |
| | | | 目 | | 03 | 観光費 | |
| | | | 大 | | 01 | 観光振興事業 | |
| | | | 中 | | 01 | 観光振興事業 | |
| 根拠法令・条例等 | | | | | | | |
| 基本計画等 | | | | | | | |

## 1　事業概要「PLAN（計画）」

| | |
|---|---|
| 事務事業の概要 | にっしん観光まちづくり協会の運営や、まちミル博覧会の開催及び観光による情報発信を実施する。 |
| 対象 | 市及びにっしん観光まちづくり協会 |
| 意図（目的） | 「ぐるぐるＮＩＳＳＨＩＮまちミル博覧会」の開催、産官学連携講座の開講、各種観光資源の発掘事業や地域ブランド創出事業の実施の他、にっしん観光ＨＰ「ぐるぐるＮＩＳＳＨＩＮ」の運営による観光資源の情報発信を行い、観光入込客数の増加を図る。 |
| 手段 | 観光まちづくり推進事業、観光まちづくり人材育成事業、観光関連情報の収集発信等各種事業の実施 |

## 2　実施結果「DO（実施）」

| 事業費（千円） | | | H31予算額 | H31決算額 | R2予算額 | R2決算額 | R3予算額 | R3決算額 | R4予算額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 10,381 | 10,148 | 12,915 | 6,490 | 9,895 | 8,839 | 31,207 |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 2,750 | 2,727 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | | 7,630 | 7,421 | 12,914 | 6,490 | 9,895 | 8,839 | 31,207 |

# 令和03年度日進市事務事業評価シート

**○令和 3年度に記載した具体的な改善内容**

| | |
|---|---|
| 令和 3年度に実施する具体的な改善内容 | まちミル博覧会を従来のオンパク方式による開催に戻すにあたり、出展者に最低限の感染症対策を求めていくとともに、「夜間」という新たな時間市場を開拓することで消費拡大を実現する「ナイトタイムエコノミー」に着目した「冷やし旅」事業を、まちミルのプレイベントとして開催することにより、出展者に新たな視点を提示していきたい。 |
| 今後（１～３年以内）実施可能な改善内容 | ＤＭＯ構想の実現に向け、まちミル博覧会の開催、愛知学院大学における産官学連携講座の開講といった事業の実施により、引き続き観光人材の育成に努めるとともに、にっしん観光まちづくり協会の組織体制の見直し・財政基盤の確立にも取り組んでいきたい。 |

| | |
|---|---|
| 令和 3年度に取り組んだこと | にっしん観光まちづくり協会の主催で、「冷やし旅」事業と連携したプレイベントやメインイベント「ぐるぐるＮＩＳＳＨＩＮまちミル博覧会」を開催した。また、シティプロモーション指針を策定し、推進の最初のステップとなる「まちの魅力の掘り起こし」に関して、市民及び近隣市町住民に対して、インターネットを使った調査を実施した。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | 新型コロナウイルス感染予防対策をしつつ、プレイベントやまちミル博覧会を実施することで、新たな観光プログラム造成や市内事業者等との関係構築に繋がり、本市の観光振興が図られた。また、シティプロモーションの基本方針を記した指針の策定や調査による基礎情報の取得により、推進にあたって必要な基盤整備を行うことができた。 |
| 課題 | ＷＩＴＨコロナの時代において、プレイベントも含めてまちミル博覧会をどのように実施・活性化させていくのかを模索していく必要がある。また、ＤＭＯ構想実現の大きな課題となっている自主財源獲得に向けて、観光協会の事業だけでなく、道の駅やシティプロモーション等の他事業との連携・活用も含めて検討していく必要がある。 |

## ３　事業の分析「CHECK（評価）」

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 評価結果 | B | 現状のまま継続 | 前年度評価結果 | B |
| 評価の理由 | ＤＭＯ構想実現に向けて、まちミル博覧会は、本市の観光振興だけでなく、「シビックプライドの醸成」及び「地域ブランドの創出」というシティプロモーション推進の目的にも資する取組であり、継続することで市民から認知され、岩崎城春まつりやにっしん夢まつりのように、本市ならではの恒例行事となるように育てていきたいため。 | | | |

## ４　今後の方向性「ACTION（改善）」

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 令和 4年度に実施する具体的な改善内容 | | 令和４年１１月に開園予定のジブリパークに合わせて、多くの観光客の来園が見込まれるが、隣街の本市に立ち寄り・消費行動を起こしてもらうことが新たな課題となる。より大きな経済波及効果を目指し、夜の立ち寄りも含めた「周遊型観光促進事業」の推進に力を入れていきたい。令和４年度はジブリパーク開園を記念し、岩崎城でのプロジェクションマッピングを中心とした事業を推進する。 | | | |
| 今後の方向性 | 成果 | ●拡充 | ○維持 | ○縮小 | ○休廃止 |
| | コスト投入 | ●拡大 | ○維持 | ○縮小 | ○皆減 |
| 今後（１～３年以内）実施可能な改善内容 | | ジブリパーク開園、令和５年放映「どうする家康」やその後に控えている道の駅の開駅といった新たな機会を好機と捉えて、観光振興事業を推進していきたい。特に、ジブリパークに関しては、愛知県が非常に力を入れている事業であり、積極的に県や近隣市町とも連携していくことで、本市の活性化に繋げたい。 | | | |

【アウトプット指標】

| 指標名 | 観光施設利用者数（岩崎城、愛知牧場、五色園） | | | | | 単位 | 人 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 310,000.00 | 297,238.00 | 200,000.00 | 235,282.00 | 250,000.00 | 270,244.00 | 300,000.00 |

【アウトカム指標】

| 指標名 | 対前年度比観光客数 | | | | | 単位 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標データ | H31年度 | | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | 100.00 | 108.10 | 64.52 | 79.16 | 125.00 | 114.86 | 120.00 |
| 式 | 今年度観光客数／前年度観光客数×100 | | | | | | |
| 指標の狙い | 既存の観光資源の活用により、観光客数の増員を目指すことを狙いとする。 | | | | | | |